

平和が丘防災タイムズ 第39号

平和が丘学区防災委員会

平成から令和に元号が代わり1ヶ月が過ぎましたが、皆様いかがおすごしでしょうか。さて、平和が丘防災タイムズ39号では、今年度の活動内容について紹介させていただきます。

○ 平和が丘学区 防災委員会 2019年度活動計画

今年度の防災委員会の活動計画は、以下のとおりです。住民の皆さまにもご協力いただく内容もありますので、是非積極的なご参加をお願いいたします。

なお、各行事の詳細は、学区ホームページ「平和が丘だより」や、事前案内の回覧等でご確認下さい。

【2019年度防災委員会活動計画】

活動項目・活動内容	実施場所	時 期
1 自主防災訓練 ①学区総合防災訓練 ②自主防災会防災訓練 各自治会&コミセンが訓練目標を設定して訓練実施	平和が丘小学校 各自治会指定場所	6月23日(日) 6月～12月
2 防災研修関連 ①自主防災会長リーダー研修 (消防署主催、2班に分けてそれぞれ2回開催) ②班長研修(情報班長、消火班長、救出救護班長、避難誘導班長、給食給水班長が出席) ③避難所運営リーダー研修(避難所の運営・実技指導)	名東消防署 名東消防署	1回目 7月7日または 8月4日 2回目 10月頃を予定 7月14日(日) 未定
3 防災委員会(会議・訓練) 学区内の防災に関わる行事の企画・立案と実施および各種情報提供や啓蒙活動のため、毎月1回会議を実施しています。また、定期的に防災器具の稼働確認や習熟訓練を行っています。	コミセンおよび 平和が丘小学校 他	通年 (主に月1回)
4 防災あんしん調査票 大地震や台風、大火災等の災害への備えとして、ご家庭・ご近所の様子や、要援護者を把握し、共助や救護に役立てる	各自治会・学区	8月
5 自主防災推進会議 自治会長、自主防災会会長、学区防災委員、消防団、消防署など自主防災関連組織による合同会議 ※今年度から、自治会長(名古屋市災害対策委員)にも出席いただき、防災活動に関する情報共有を年3回行うこととしました。	コミセン	4月21日(日) 6月 2日(日) 12月 8日(日)
6 その他(名東区防災訓練への参加) ①名東区総合水防訓練:土のうを使った水防工法など応急対策の定着と、水害に関する知識の普及を図る ②名東区総合防災訓練:大規模災害に備え、防災意識の高揚と、各種防災対策の推進を図る	前山小学校 上社中学校	5月26日(日) 9月1日(日)

○2019年度防災委員会のメンバー紹介

防災委員会は、平和が丘学区連絡協議会の直属委員会として平成15年に発足し、各自治会の自主防災会長や平和が丘消防団、名東区役所、名東消防署等と連絡を密に、防災に関わる行事の企画立案と実施、各種情報提供・啓蒙活動等を行っています。

2019年度は、1名退任されましたが2名の方が新たに選任され、22名になりました。

【2019年度防災委員】（順不同）

役職	氏名	主な担当内容	役職	氏名	主な担当内容
委員長	後藤 浩一郎	学区会長・総括	委員	曾根田 律夫	学区事務局長・防災訓練担当
副委員長	吉田 欣一	学区副会長・防災訓練担当	委員	田口 恒	防災訓練担当・各種研修担当
事務局長	今井 信彦	窓口・東邦高校との防災連携	委員	津田 信行	防災あんしん調査票担当
会計	森 文男	資産管理・平小避難所担当	委員	中川 衛	防災訓練担当
委員	浅井 重子	家庭防災担当	委員	中西 秀伸	防災訓練担当
委員	加藤 実	コミセン避難所担当	委員	舟橋 三千秋	東邦高校避難所担当
委員	河村 庫夫	避難所運営担当	委員	前島 一也	防災タイムズ・ホームページ担当
委員	児玉 忠信	猪子石中学校避難所担当	委員	山本 篤也	防災訓練担当
委員	五藤 俊和	防災訓練担当	委員	吉澤 永	防災タイムズ担当
委員	榊原 眞一	防災訓練担当・各種研修担当	委員	若林 幸男	防災訓練担当・各種研修担当
委員	佐野 敏昭	防災あんしん調査票担当	顧問	山田 賢	消防団長

○名東区保護司会の役割と活動

名東保護司会は名東保護区に所属している約30名の保護司と名東区役所内にある事務局で構成されています。保護司会活動としては、更生保護の内容と意義についての広報活動、保護司の活動能力を高める為の研修開催などがあります。

ところで保護司の活動について御存じでしょうか。

抽象的でわかりにくいですが、大きく分けると地域において次の活動をしています。

①罪を犯した人たちなどの立ち直りを支援する活動

- ・犯罪や非行をした人たちの立ち直りを助けるための、見守り、指導、相談支援等
- ・家族や働く場所など刑務所や少年院にいる人が帰ってくる場所の生活環境の調整

②地域における犯罪や非行を防止する活動

- ・地域住民や学校等での啓発
- ・更生保護に対する地域の協力者の確保

最後に、保護司になっていただける方の確保が急務になっています。

保護司活動に少しでも興味を持たれましたら、お知らせくださるようお願いいたします。

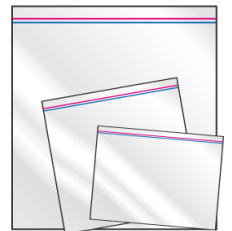
【連絡先：名東区役所総務課内 名東保護区保護司会事務局 Tel：052-778-3012】

（平和が丘学区では、保護司も学区連絡協議会に委員として参加しています。）

□防災お役立ち情報（防災用品）

非常災害時の持ち出し用としては、水や食料(当面の3日分)や上のお皿やコップ類、懐中電灯、トイレットペーパーや生理用品、マッチやライター、当面の現金などが必要とされています。

その中で、雨などの水に濡れてしまうと使えないライターや現金、ティッシュペーパー、子供用お菓子などは、予めジップロックに入れた状態で持出袋に入れておくと良いですね。



<編集後記> 1989年に始まり2019年に終わった平成の時代を災害の視点で振り返ると、雲仙普賢岳火砕流や三宅島・御嶽山の噴火、阪神淡路大震災や新潟県中越地震、東日本大震災、熊本地震など各地で大きな災害が発生し、多くの方が被害に遭われた時代でもありました。しかし、これら災害への対応においてはボランティアや寄付が積極的に行われ、それぞれボランティア元年(1995年)、寄付元年(2011年)でもあり、社会貢献の視点においても、非常に大きな意味をもつ時代でもありました。災害は発生しないに越した事はありませんが、いざとなった時でも、お互いに手を差し伸べ助けあいができ、災害や被害を最小限に止められる、そんな環境が一層発展する時代が「令和」であることを望みます。

（編集 前島）

平和が丘だより

検索

